

平成22年度全国小学生バレーボール指導者一次講習会

1. 目的 小学生に正しく、楽しいバレーボールを指導するための指導方法について研修し、指導者の資質の向上を図る。
2. 主催 (財)日本バレーボール協会 日本小学生バレーボール連盟
3. 主管 (財)日本バレーボール協会指導普及委員会
日本小学生バレーボール連盟指導普及委員会
開催県バレーボール協会・開催県小学生バレーボール連盟
4. 後援 開催県・市町村教育委員会、開催県・市町村体育協会、報道機関
5. 開催期日及び開催地 平成22年 7月～平成22年12月
○新潟県 平成22年 7月17日(土) 18日(日)
○愛媛県 平成22年10月 2日(土) 3日(日)
○和歌山県 平成22年10月23日(土) 24日(日)
○東京都 平成22年12月 4日(土) 5日(日)
6. 参加資格 ①小学生バレーボールの指導に関わっているもの
②地域においてジュニアバレーボールの指導に関わっているもの
(中学生指導者を含む)
③小学生バレーボールの指導を希望しているもの
7. 内容 ①小学生バレーボールの指導者の理念
②バレーボールのルールと審判法
③初心者導入法
④バレーボールの技術論(基本)
⑤基本技術(攻撃・守備)の指導実習
⑥救急法
8. 講師 (財)日本バレーボール協会公認講師
(財)日本バレーボール協会役員
日本小学生バレーボール連盟役員
9. 参加料 無料(但し、受講証明書代として2,000円が必要である)

10. 参加申し込み方法及び締切日

所定の用紙必要事項を記入し締切日までに申し込むこと

(申し込み先) 別途連絡 (締め切り期日) 別途連絡

11. その他
- ①全課程を修了したものには、受講証明書を発行する。この証明書を持っているものは、日体協スポーツ指導員専門科目取得の際、10時間の免除措置がある。
 - ②宿泊希望者には斡旋する
 - ③全日本バレーボール小学生大会においては、この研修会の修了書又は日体協資格を有しているものが最低一人ベンチスタッフとして登録されていなければならない。また、スポーツ少年団全国交流大会に出場するチームのベンチには、スポーツ少年団認定員資格を有し且つ本研修会の修了者が最低一人登録されていなければならない。尚、平成18年度から全国大会につながる全ての予選会においても、この規定が適用されている。
 - ④平成25年から、全日本バレーボール小学生大会の全国大会においては、日体協資格取得者のベンチ入りが義務化される見込みである。また、同年より都道府県大会においては、日体協資格か二次講習会取得者のベンチ入りが義務化される予定である。
 - ⑤この研修会は、日体協資格更新の義務研修に指定されているので、有資格者で希望するものは申し込みの際、資格種類、番号等を知らせること。